

学年通信

『なかま』

四日市市立三滝中学校
第2学年 第18号
2021.11.08.

成長の見られた、合唱コンクールとなりました

朝から気持ちのいい晴天の下、合唱コンクールを開くことができました。コロナ禍で十分に合唱練習ができないまま続いたコンクールへ向けての取り組み。時間も場所も制限のある中、各クラスともに合唱実行委員会を中心に練習を進めていきました。



2-1

取り組みが始まってすぐにやってきた、第1回リハーサル。まだまだ合唱と呼ぶには程遠く、どのクラスも課題は山積しているような状態でした。「このままではいけない!」と、どのクラスも取り組みを見直し、実行委員や室長を中心に、練習を進めました。いろんな先生の所に、「うちのクラスの合唱はどうでしたか?」「どんな風に練習したらいいですかね?」と聞きに行っているリーダーもいましたよ。「曲紹介の文は、これでいいですか?」と聞きに来る人もいました。こうした人たちの頑張りが、少しずつ実を結んでいったように思います。



2-2

去年の取り組みでは、どちらかという担任の先生が中心に練習を進めていくが多かったと思います。それが今年は、『自分たちがやる!』という意気込みを感じることができました。もちろん、うまくいくことばかりではありません。一生懸命になりすぎるあまり、その熱意が行き過ぎてしまうことも…。自分の想いを伝えるって、難しいですね。

人に何かを伝えたいと思った時、当然ですがその人は、言葉を選び、人の気持ちを考えながら伝える技術が必要です。でもみんなはまだ中学生。そんなにうまくいかないのが現状でしょう。ではどうする? 私は、伝えられる側の受け取り方も大事なのだと思います。



2-3



2-4

結構、キツイ言葉が練習中に聞こえてくることもありました。なぜそんなことになったのでしょうか。きっと、一生懸命に取り組んでいたからこそ出てくることなのでしょう。もちろん、一生懸命だったらなんでも許されるわけではありません。ただ、そこまで頑張っている状態なんだなということに気づけるのも、周りのみんなが成長してきたからこそなのだと思います。

私は合唱が大好きです。そして、合唱の取り組みが大好きです。歌うことの楽しさはもちろん、そこから人と人とのつながりを考えるきっかけにつながると考えているからです。これは、中学2年生となったみんなだからこそ感じられる成長。さあ、来年はどんな歌声を響かせてくれるのかな? そして取り組みの中で、どんなやり取りをしてくれるのかな? また一つ成長した姿が見られることを、期待しています。

また、たくさんの保護者の方に、合唱コンクール及び展示見学に見に来ていただきました。ありがとうございました。まだまだ以前のようにとはいきませんが、これを機会にぜひ、お子さんと学校での様子を話すきっかけにしていだけたら幸いです。

金賞	銀賞	指揮者賞	伴奏者賞
2組	1組	谷口 泉子 さん	梅山 侑那 さん

※ 別紙にて連絡させていただいたように、以前に実施した人権講演会の動画を、三滝中学校 HP にて公開しております。また今後、三滝祭のようすも HP で公開予定です。